

テーマ

A PR不足

課題

市立病院のイメージが市民に浸透していない！

生駒市立病院のありたい姿実現のために、以下を提案します！

市民ができること

- ・患者自身がPRする
(ファンになる)
- ・患者の情報、健康の情報、市民
同士の交換の場を作る(SNS)。

病院ができること

- ・患者の満足度を上げる

市や行政ができること

- ・行政が持っているネットワークを活用し、情報発信する。

テーマ

A 受付・院内のわかりにくさ

課題

院内案内図(表記)がわかりにくい

生駒市立病院のありたい姿実現のために、以下を提案します！

市民ができること

- ・案内ボランティアに応募する
- ・どこがわかりにくいかを市民目線で提案する

病院ができること

- ・コンシェルジュを置く(充実させる)
- ・総合案内所(デジタル掲載の活用)
- ・デジタル掲載(AI・スマホアプリ)を活用し、順番案内
- ・市民が活用しやすい意見箱を設置

市や行政ができること

- ・案内ボランティアをホームページ広報誌で募集
- ・市民が意見を言いやすいような意見・質問ページをホームページに作る

テーマ

A 病院設備関連

課題

市立病院バス停がなく、駅からのアクセスが悪い

生駒市立病院のありたい姿実現のために、以下を提案します！

市民ができること

- ・乗り合わせて通院する
- ・自治体に訴える

病院ができること

- ・送迎バスを運行する
- ・徒歩で来院される人に優しい(フレンドリーな)病院にする(駅からフラットな道で来院できるよう北側に入口を作る)
- ・出張診療(訪問診療)を行う
- ・自治体に訴える

市や行政ができること

- ・駅から病院までの道をバリアフリーにする
- ・駅からの道に屋根を作る
- ・病院前の道路に横断歩道を付ける
- ・病院前に路線バスの停留所を作る
- ・コミュニティバスを通院に使いやすいうように充実する
- ・駅と病院の間に市の施設を作り通れる様にする

テーマ

B 医師不足

課題

病院の根幹(顔)となる内科医の不足(特に常勤)

生駒市立病院のありたい姿実現のために、以下を提案します！

市民ができること

- ・(ワークショップなど)病院や市が設定する対話の会に積極的に参加する。
- ・(Drを増やしてほしい、困ったことなど)市や病院にアピールする。
- ・意見箱に思いを届ける。活用する

病院ができること

- ・大学に依頼
- ・同系列グループHPと連携、依頼。
- ・非常勤ではなく、常勤医師を増やす
- ・病院が困っていることをアピールする。
- ・意見箱をアピールする
- ・市民と対話する場を定期的に設ける。

市や行政ができること

- ・病院内に市の相談窓口を設ける
- ・生駒市の予算を付ける
- ・病院と市民の対話に市も参加する

テーマ

C 市立病院と地域医療との連携が不十分

課題

患者が相談できる場所がわかりにくい

生駒市立病院のありたい姿実現のために、以下を提案します！

市民ができること

- ・市民ボランティアによるコンシェルジュ

病院ができること

- ・地域医療機関との連携を増やす
- ・患者さんが困りごとを発信できるように体制づくり
- ・市民ボランティアに向けた環境づくり

市や行政ができること

- ・市民ボランティアの機運の醸成

テーマ

C 認知症や介護が必要な方のケアが不十分

課題

認知症や介護の専門的な対応ができる人の人材不足

生駒市立病院のありたい姿実現のために、以下を提案します！

市民ができること

- ・認知症や介護について理解を深める

病院ができること

- ・対応ができる人材の確保
- ・院内デイ
- ・地域包括ケア病棟と療養病棟の設置
- ・病院内で認知症サポーター養成講座（市民向け）

市や行政ができること

- ・病院と連携して、認知症や介護にかかるセミナーなどの充実

テーマ

D 診療科の充実

課題

高齢者に特化した診療科がない

生駒市立病院のありたい姿実現のために、以下を提案します！

市民ができること

- ・認知症への理解
- ・近所づきあい

病院ができること

- ・患者への病名説明配慮
- ・クリニックとの連携

市や行政ができること

- ・地域包括支援センターのアピール
- ・介護予防
- ・認知症サポーター普及
→病院が場所を提供